

あなたにとって病院は必要ですか。 病院を守るのはあなたです。
広報げろ 2008.7

あなたにとって病院は必要ですか。病院を守るのはあなたです。

皆さんは、病院はあって当然、無くなることはないと思っていませんか。無くなったらどうしますか。病院の使命の第一は入院治療と救急医療と考えます。しかしこれが医師不足のために危うくなっているのです。病院に勤務する医師の不足は深刻で下呂市においても例外ではありません。新臨床医師研修制度が始まって以来、医師本人が勤務する病院を選ぶようになりました。病院長はもとより市長や県知事、国であっても医師を自由に病院に招聘できないのです。もちろん大学教授も例外ではありません。常日頃教授との話し合いの中でも本人が希望しない病院への赴任依頼は不可能と断言しています。

◎医師に選ばれる病院とは

それでは医師に選ばれる病院とはどのような病院でしょうか。まず、自分の希望する診療技術が高められること、専門技術を発揮できること、時間外診療や専門外診療に煩わされないこと、できれば給料は高いほうがよいのですが、それよりも努力に対して患者側の理解が得られること、症例が多く外科系では手術が多いこと、指導医に恵まれていること、病院がきれいで設備がよく働きやすいこと、通勤や生活環境が便利であること、行政が病院への支援を施策のトップに挙げていること等々、医師側のエゴとも取られかねない点もありますがこれらはまた無理からぬことでもあるのではないのでしょうか。

◎病院が抱えている問題

仕事の都合で時間外に受診した患者を見る医師は翌日も休みも無く働かなければならないのです。当直で専門外の患者を診ざるを得ない医師は翌日の専門診療の気力をそがれます。手術は外の病院で受け後の面倒だけを見てくれというのも医師の存在意欲をなくします。下呂市の病院は老朽化が進み耐震性でも大きな問題があり設備の点でも医師に選ばれる病院としては程遠いものがあります。数年来移転新築が望まれてきましたが、さまざまな理由で大幅に遅れています。

◎皆さんができること

地域の病院を守るために皆さんができることの一つは、必要なときにはまず最寄の病院を利用することです。病院の運営費のほとんどは皆さんの受診料によってまかなわれているからです。しかしここで最も大切なことはその病院の役割や専門性を十分に考慮し、適正な時間内に受診することです。できることのもう一つは安全で快適な入院治療を受けるためにも病院建設を積極的に支援していただくことです。これは医師が、働く病院を選ぶためにも欠くことのできない必要な条件でもあると考えるからです。現在病院ではスタッフ一同、過酷な条件の下、よりよい診療を提供できるようできる限りの努力をしております。皆さんのいっそうのご支援をよろしくお願いいたします。

下呂市立金山病院 院長 古田智彦